

日台学術シンポジウム

東アジア国際社会のなかの

日本と台湾

日時：2016年

10/3月

13:00～17:30

場所：中京大学名古屋キャンパス

5号館6階 563教室

主催：中京大学大学院法学研究科

共催：中京大学社会科学研究所

後援：中京大学先端共同研究機構

国立政治大学台湾史研究所

台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

プログラム

13:00～13:10

《開会の挨拶》

中京大学学長 安村仁志

中京大学大学院法学研究科長 檜山幸夫

13:10～15:00

《第一部》

「日本統治下台湾の政治と社会」

司会：檜山幸夫（中京大学）

台湾総督府医学系官僚における学歴と学閥

鈴木哲造（中京大学）

運動競技と文化政治

謝仕淵（国立台湾歴史博物館）

—1930年代のMANO野球史を事例として—

通訳：鈴木哲造

台湾農村における社会教化組織の運営実態

陳怡宏（国立台湾歴史博物館）

—台湾歴史博物館所蔵陸季盈日記を事例として—

通訳：鈴木哲造

日本統治期台湾の文書保存と官僚

東山京子（中京大学）

15:00～15:10

《休憩》

15:10～16:45

《第二部》

「戦後台湾の政治と社会」

司会：檜山幸夫（中京大学）

台湾の政治システム

京 俊介（中京大学）

アメリカの援助と台湾経済についての再検討

李為楨（国立政治大学）

二二八事件をめぐる歴史清算問題

薛化元（国立政治大学）

通訳：李為楨

東アジア安全保障環境と日台関係

佐道明広（中京大学）

16:45～17:00

《休憩》

17:00～17:30

《第三部》

《総合討論》

司会：檜山幸夫（中京大学）

コメンテーター：古川浩司（中京大学）

コメンテーター：矢切 努（中京大学）

コメンテーター：小坂田裕子（中京大学）

《閉会の挨拶》

※本会の開催は、中華民国文化部「台湾アカデミック文化ネットワーク重点計画」の助成金による。